

第 4 号様式（第 10 条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第 10 回武蔵村山市男女共同参画計画策定市民懇談会
開 催 日 時	令和 6 年 10 月 4 日（金）午後 7 時～8 時 30 分
開 催 場 所	緑が丘ふれあいセンター（コミュニティセンター学習室）
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：諸橋委員、森本委員、市川委員、椎野委員、堀上委員、池村委員、小山委員、谷原委員（計 8 名） 欠席者：厨川委員、中村委員（計 2 名）
議 題	1 武蔵村山市第五次男女共同参画計画（素案）第 3 章について 2 武蔵村山市第五次男女共同参画計画（素案）第 4 章について 3 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題 1 について： 委員からの意見を踏まえ、事務局にて修正する。 議題 2 について： 委員からの意見を踏まえ、事務局にて修正する。 議題 3 について： ・事務局にて修正した素案を座長及び副座長に確認していただいたのち、市長に報告する。 ・次回懇談会は、1 月頃に開催予定とする。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発言者） ◎印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局	報告事項 1 第 9 回武蔵村山市男女共同参画計画策定市民懇談会会議録について －事務局より説明－ －会議録について委員一同承認－ （意見、質問等なし） 報告事項 2 第 9 回武蔵村山市男女共同参画計画策定市民懇談会及び令和 6 年度第 3 回武蔵村山市男女共同参画推進委員会における素案に係る意見等について －事務局より説明－ ○ 「Renewal」や「New」の表記を「新規」「更新」と表記したことにより分かりやすくなったと感じる。 ◎ 「新規」「更新」の文字の色は計画書を印刷する際に青色とするのか。 ● 黒以外の別の色に変更する予定である。 ◎ 四角で囲まれている番号は第四次計画に対応する事業番号であるか。 ● そのとおり。 議題 1 武蔵村山市第五次男女共同参画計画（素案）第 3 章について －事務局より説明－ ◎ 時代に即した内容が盛り込まれ、事業数が増えたことで拡充された印象を受ける。新規事業はいくつあるか。 ● 4 事業である。 ○ 42 ページについて、「＊」のついている字句に注釈が加わるのか。 ● そのとおり。80 ページより用語集を設けている。

	○ 32 ページ No. 31「女性リーダーの育成」について、「メンターバンク」とはどのようなものであるか。 ◎ 人材登録のようなものか。 ● 地域の方にメンターとして登録していただき、必要に応じて支援をいただくものである。 ○ メンターという用語の意味は何か。用語集に加えた方がよい。 ◎ 助言者や手伝い等の意味がある。メンターバンクに関して、既に登録者はいるのか。 ● 名簿等はまだなく、今年度から事業に着手していく。 ◎ 隠れた人材の発掘に繋げていければよいと感じる。 ◎ 38 ページ No. 47「男女共同参画の推進を担う地域の団体等との連携」について、男女共同参画の推進を担う団体は「2団体以上」とあるが、現在把握している推進団体はいくつあるか。 ● 商工会の女性部や国際ソロプチミスト武蔵村山等を想定している。 ◎ 男女共同参画センター「ゆーあい」で活動している団体についてはどうか。 ● 男女共同参画を主目的として活動を行っている市民活動団体がいないため、難しい。 ◎ 緑が丘ふれあいセンターの活動団体の集った会議体や、年1回の総会等はあるか。 ● 会議体はなく、連絡会を年に1、2回開催している。 ◎ 男女平等を推進する女性グループや緑が丘ふれあいセンターのサポーター等が増え、意見交換ができるようになると望ましい。 ◎ 32 ページ No. 34「各種審議会等への女性の参画促進」について、目標値は40%以上60%以下であり、女性委員のいない審議会等の数についても現状4会議体となっている。審議会の比率に関するデータは掲載するのか。 ● 掲載しない予定である。 ○ 48 ページのQRコードについて、読み取ると男女共同参画センター「ゆーあい」のホームページへアクセスできるが、若年層がホームページを閲覧するのか疑問である。市の公式LINEは、検診関連からイベント関連まで多様な情報が取得でき、若年層の利用頻度も高いと感じる。 ● QRコードについては、男女共同参画センター「ゆーあい」における事業等を詳しく知りたい方へ向けて情報が提供できるように掲載している。 ○ 若年層はQRコードを使いこなしているが、LINEもかなり活用している。 ○ 男女共同参画センター「ゆーあい」についての情報発信は、QRコードと市公式LINEの両方で情報を提供できるとよいと考える。 ● 男女共同参画センター「ゆーあい」の事業は、市公式LINEを活用して周知している。 ○ LINEでは受動的に受信した多くの情報の中から自身に必要な情報を収集できるが、QRコードは自発的にアクセスしない限り決してその情報が届くことはないと考えている。このような違いについて、市はどう考えるか。 ● 男女共同参画センター「ゆーあい」の施設自体に関する情報を市公式LINEで発信するタイミングがないことを踏まえ、男女共同参画センター「ゆーあい」に関するQRコードを掲載するに至った。 ○ まずは市公式LINEについて周知を行うとよいのでは。興味のある
--	---

	人は友達登録へ進んだのち、自身に必要な情報を取捨選択しながら受け取ることができる。48 ページに「(3) 情報発信の強化」との記載もあることから、検討が必要ではないか。 ● 緑が丘ふれあいセンターは公式のLINEアカウントを所有していたと認識している。一度確認させていただく。 ○ 緑が丘ふれあいセンター公式のLINEで講演会やイベントに関する情報を発信するのではなく、男女共同参画センター「ゆーあい」が普段考えていること等を発信するべきである。 ○ こうした情報に受け手が興味を持てばよい。 ● 仮に緑が丘ふれあいセンター公式のLINEが存在するのであれば、友達登録ができるような情報発信の仕方がよろしいか。 ○ そうするのがよい。 ○ 緑が丘ふれあいセンターのLINEアカウントを友達登録しない限り情報が届かないため、緑が丘ふれあいセンターのLINEに関する情報周知に努める必要があり、こうした機会を増やすことが重要となる。 ● 事業を周知する際に、緑が丘ふれあいセンターのLINEを併せて周知したり、又は男女共同参画センター「ゆーあい」のホームページに遷移した先で興味を持った場合にLINEの友達登録ができるような仕組みにするのがよいか。 ○ そうである。 ○ 用語集の最後に、LINEの友達登録やQRコード等について記載してもよいかと考える。 ○ LINEの友達登録等のスマートフォン操作が苦手な人と、積極的に活用できる人とで二極化しているように感じる。 ○ 年配層でなく若年層をどう参画させるかが課題であるため、スマートフォンの文化を取り入れるべきである。市の観光大使に関する情報発信の事例のように、若年層のニーズを把握する方法を考案していく姿勢が重要である。 ○ LINEの友達登録に関しては、計画書の巻末部分に案内を記載してもよいかと考える。 ○ 単にホームページに遷移するだけでは物足りなさを感じる。 ○ 困っている人は自発的に情報を得ようと進んで検索を行うが、困っていることがない人や無意識的なDV加害者は、市が男女共同参画に関する事業を行っていても全く気に留めることがないように思える。本来はこうしたことに関心を持たない人に向けて啓発する方法を考えていくことが大切である。 ○ 身の回りで起こっている出来事について、すぐに情報が得られると便利である。 ○ X等のデジタルメディアを活用した情報発信に努めていただきたい。情報発信に関しては、48 ページ「第4章 計画の推進に向けて」の「1 計画の推進体制・連携体制」においても追記していただきたい。 ○ 33 ページについて、第4段落の文章が長いように思える。「ような」という字句が重複している点も気になる。もう少し読みやすくするために文章を分割していただきたい。 ○ 第4段落2行目「…制度の導入が進められつつありますが、…」は、「進められつつあります。」と文章を切ってもよいのでは。他の箇所も含めて長い文章があれば短く修正していただきたい。 ○ 第4段落8行目について、「…情報が必要なときに得られる情報提供…」とあるが、「情報が必要なときに『必要な』情報が得られる」という表現にすることによって、「情報が求められている時にその人が
--	---

	本当に必要としている情報を提供すること」を課題としているという印象を与えることができるのではない。 また、37 ページ第2段落について、3行目「…固定的な性別役割分担が依然として残っている…」とあるが、「依然として」の字句は必要か。 ○ 「依然として」の字句を用いることで「未だに変わっていない」現状を強調する効果がある。「依然として」の字句は必要だと考える。 ○ 同じページの第3段落「…女性がリーダーシップを発揮し、…」とあるが、女性に限定された印象を受けるため、主語を「女性も男性も」や「誰もが」等、女性に固定されないような表現にするのがよいと感じる。 また、39 ページ第2段落について、1行目「…性別によるニーズの違いに対応するために、防災会議委員として女性 10 名を登用しており、…」とあるが、救援物資の配分や避難所運営等は男女関係なく対応すべきである。「本市の防災会議員として、女性 10 名起用していることは、周辺の団体と比較しても高い水準にあります」と表現するのが適当かと考える。 ○ 救援物資の配布や避難所運営に関して、性別による人数の違いは事実として生じることはあるため、その点は追記していただきたい。 ○ ニーズによる女性登用であることは理解できるが、「ために」が引っかかる。 ○ 「そのため」と区切るのはいかがでしょうか。 ○ 当該部分で主張したい点は、周辺の自治体と比較した女性登用の数値の高さであると思われる。 ○ 44 ページ第2段落について、1行目「…女性は、妊娠や出産等、特有の問題を抱えることもある…」とあるが、全ての女性が妊娠や出産を「特有の問題」と捉えているわけではない。また、妊娠や出産は「問題」ではないため、表現を修正していただきたい。 ○ 「妊娠や出産等の『特性』がある」と表現するのはどうか。 ○ 46 ページ No. 64 の目標値「延べ 92,000 人」が中途半端に感じるが、根拠は何か。 ● 指定管理者との協定上の数値となっている。 議題2 武蔵村山市第五次男女共同参画計画（素案）第4章について －事務局より説明－ ◎ SNSを活用した情報発信については、前述のとおり付け加えていただきたい。 必要な人にしっかりと届くような情報発信を行えるとよい。 ◎ 図4-1「男女共同参画推進委員会」は庁内の会議体であり、右側の「男女共同参画推進市民委員会」が市民を交えた会議体であるが、一見して左右の委員会の違いが明確でないため、それぞれの委員会について説明を加えていただきたい。他の箇所に説明の記載はあるか。 ● 資料編には設置要綱や審議内容等を掲載しているが、御指摘のとおり市民が目を通した際に分かりづらい可能性がある。 ◎ 二種類の委員会の違いについて、説明を記載していただきたい。
--	---

議題3 その他

－事務局より説明－

- 市議会を通さずに計画書を出すことができるのか。
- 全員協議会という、定例会とは異なる会議体で、市議会に説明する予定である。

なお、本懇談会においては、素案の内容を審議することは今回で最後となり、年明けに、内容が決定した計画書を承認いただく流れとなる。本日の懇談会で出た修正意見を反映させた上で、素案を座長及び副座長へ送付するため、確認いただきたい。
- ◎ 本日以降に意見等があれば、座長又は副座長に申出いただきたい。
- ◎ 計画書の表紙に西暦を加えることは可能か。
- 庁内で計画書の体裁が決まっている可能性があるため確認が必要であるが、主管課としては西暦を加える方向で調整を進める予定である。
- ◎ 81 ページ用語集内の「SOGI（ソジ／ソギ）」について、「…いずれかの性別に向かうかの指向…」は日本語として馴染みのない表現である。「どちらの性別に向かうのか」が指向であるとするならば、当該表記は重複している表現であるため、「指向」の字句は必要ないかと思われる。
- 「どちらの」ではなく「どちらも」の場合もある。
- 用語集については事務局において再度精査する。
- ◎ 「障害」の「害」は平仮名表記でなくてもよろしいか。
- 市では漢字表記としている。
- 当事者はこだわる部分であると思われる。
- 82 ページ「やさしい日本語」は用語集に必要か。
- 「やさしい日本語」は外国人等に向けて使用されているものである。
- ◎ 例えば「避難」を「にげて」と換言することが「やさしい日本語」である。
- 日本人が「やさしい日本語」を知らない可能性もある。用語集に掲載することでより認知してもらえると考ええる。
- 用語集に、性的マイノリティ、ジェンダーアイデンティティ、メディア・リテラシーについても加えていただきたい。
- 本文に上記用語の記載があれば追加する。
- 3 ページ及び 24 ページにて確認できる。
- SDGs について、掲載が必要ではないか。
- SDGs はメディアでは頻繁に取り上げられている。
- ◎ 2 ページ及び 7、8 ページに SDGs について説明が掲載されているため、除外してもよいと思われる。
- 「＊」の付いている字句を用語集に掲載している。
- ◎ 大事な計画冊子となるとともに、貴重な白書、辞書ともなることから、より良い出版物にしていただければ幸いである。

閉会

会 議 の 公 開 ・ 非 公 開 の 別	■公 開 傍聴者： <u>0</u>人 ☐一部公開 ☐非 公 開 ※一部公開又は非公開とした理由 []
会 議 録 の 開 示 ・ 非 開 示 の 別	■開 示 ☐一部開示（根拠法令等： ） ☐非 開 示（根拠法令等： ）
庶 務 担 当 課	協働推進部 協働推進課